

ジョリパット不燃

JQ-200シリーズ

ビードロ仕上げ

施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社
第二R&Dセンター
建設樹脂開発グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジヨリパットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約514m ² /缶
主 材	ジヨリパット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200、JP-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ-200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kgペール缶	約9m ² /缶
骨 材	JF-1	寒水石1厘	20kg袋入	約16m ² /袋

<主な施工道具>

- ・ステンレスゴテ

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード（プラスチックボード）又はモルタルとする。

<ビードロ仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	J S - 5 0 0	1 8 k g
	清 水	1 8 ドル
塗 布 量	0. 0 7 k g / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上 48時間以内

2. 主材 下塗り

- ・ジョリパット不燃を無希釈で0.9kg/m²となるようステンレスゴテで平滑に塗布する。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	J Q - 2 0 0 シリーズ	2 0 k g
	寒水石 1厘	2 0 k g
	清 水	2 ~ 3 ドル
塗 布 量	約 2. 5 k g / m ²	
施工道具	ステンレスゴテ	
	ステンレスゴテで材料を均一に配る。	

追かけ塗り（5分以内）

4. パターン付け

- ・ステンレスゴテでランダム模様を付ける。（図-1）
材料を壁面に点付けしてから模様付けしても良い。

24時間以上放置して乾燥させる。

<施工のポイント>

- ・ステンレスゴテ（剣先）をランダムに動かし、剣先で凹凸模様をつける。（図-1）。模様が出にくい場合は、材料を点付けして模様付けを行っても良い。

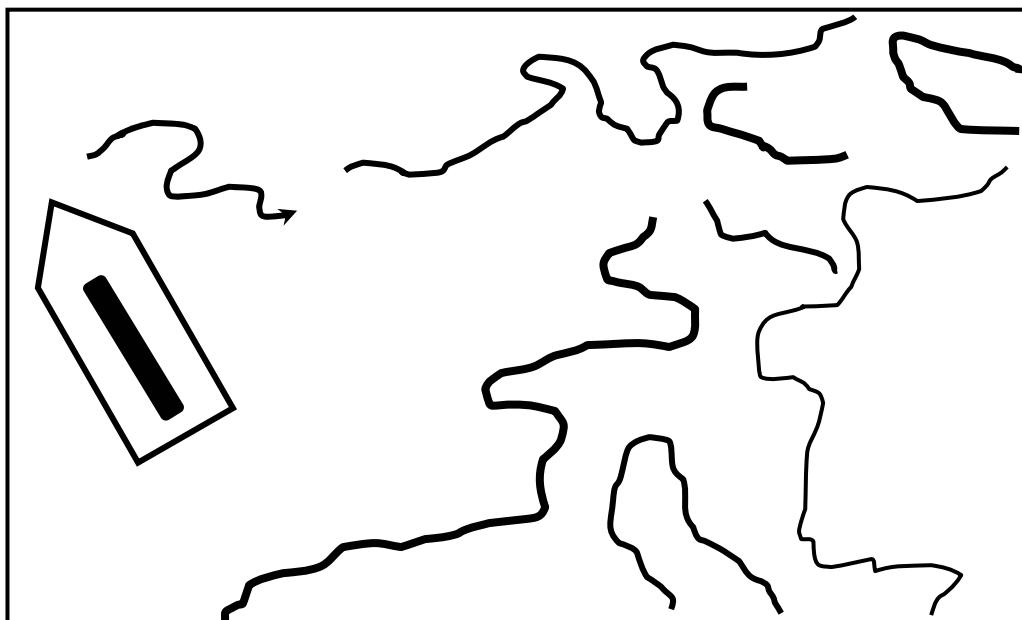


図 - 1

<施工の注意事項>

- ・施工場所の気温が5°C以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・材料の練混ぜはハンドミキサーなど機械練りとし、均一になるまで十分に練り合わせて下さい。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ジョリパット不燃の水希釈が多いとパターンがタレる為、希釈量には注意して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。（特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。）
- ・**このパターンは作業者により仕上がりにバラツキの出やすいパターンです。塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めて下さい。**

以 上